

『日中両政府の交流と協力の強化に関する共同プレス発表』（経済部分）の 進捗状況について（中間報告）

2009年6月7日

2009年6月7日、東京において、第二回日中ハイレベル経済対話が開催され、2009年4月30日の麻生日本国内閣総理大臣と胡錦濤中華人民共和国国家主席との日中首脳会談での合意を踏まえ、2008年5月に胡錦濤主席が訪日した際に作成された『日中両政府の交流と協力の強化に関する共同プレス発表』70項目のうち半分以上を占める経済部分について、作成された時から約1年経った現時点において調査したところ、そのほとんどに着実な進展が見られることが、以下のとおり確認された。

【注。（ ）内の番号は70項目の共同プレス発表の各番号と一致。】

【環境省関係抜粋】

9（30）.

環境人材の育成については、2008年6月に国連大学と連携して、アジアの環境大学院ネットワーク（ProSPER.Net）を立ち上げた（現在、中国から1大学、日本から8大学が参加している）。

現在、本ネットワークに参加しているアジア太平洋地域の18の大学により、本ネットワークの加盟団体間で共通に活用できる、政策決定者向け、経営者向け、大学教員向けの持続可能な開発の視点を入れたカリキュラム開発等を行っている。

13（34）.

循環経済等における協力については、これまでの地方都市間の協力事業を評価し、引き続き実施・拡大していく。

14（35）.

水環境分野における協力については、2008年5月に締結した覚書に基づき、日中協力の下で、重慶市、江蘇省泰州市において分散型排水処理モデル事業を実施している。処理水質等のモニタリングを行うとともに水環境管理技術等の普及促進方策の検討を進める。

15（36）.

黄砂問題等に関する協力については、2007年12月に開催された第9回日中韓三カ国環境大臣会合（TEMM9）での決定に基づき、2008年より日中韓三カ国による黄砂共同研究を実施している。

また、TEM9 での決定に基づき、光化学オキシダントに関する既存の知見の共有など、汚染メカニズムの解明や共通理解の形成に向けて科学的な研究協力を進めている。

16 (37) .

コベネフィット・アプローチに関する協力については、2008 年度より、同アプローチ推進のため、モデル都市（四川省パンジホア市）において、現地調査や共同研究を実施中。2009 年 2 月には、環境省と中国環境保護部が合同で第 2 回現地調査を実施した。引き続き、具体的なプロジェクトの発掘・形成に向けた協力を進める。

35 (64) .

気候変動分野における両国の協力については、日中両国が参加する「クリーン開発と気候に関するアジア太平洋パートナーシップ (APP)」の下での取組が進展している。日中両国も参加する「エネルギー安全保障と気候変動に関する主要経済国首脳会合」(2008 年 7 月) においては、首脳宣言が発出され、また、2009 年 2 月には、双方の実務者レベルによる「第 5 回日中気候変動対話」を実施した。2009 年末コペンハーゲンで行われる気候変動枠組条約第 15 回締約国会議における、全ての主要経済国が責任ある形で参加する公平で実効的な次期枠組みの合意に向けて、引き続き両国で緊密に協力していく。

(了)